

みんなでかんさつ隊 「新緑の鶴見緑地、みんなでレインボー探し?！」

日時／平成 28 年 5 月 7 日(土) 10:00~12:15

場所／鶴見緑地公園 天候／曇り

講師／田中 翔平 スタッフ／5 名

参加者／大人 18 名、子供 16 名 合計 34 名

観察内容／前日の雨の影響で開催が危ぶまれましたが、観察会には大勢の参加者が来ていただき、

スタッフ冥利に尽きる観察会となりました。また、保全協会のインストラクター養成講座7名の参加もありました。この観察会の狙いは、新緑の中で花を咲かせる樹木やその樹木や花に集まる鳥や昆虫などの色を観察してもらい、どんな色が多いのか、そしてその色彩の持つ意味を考えてもらうことです。まずは、中央入口から公園に入り、クワガタを探しました。早速コクワガタのメスが見つかりました。木の札の裏にはニホンヤモリがいました。これらの生きものは地味な色をしています。花にはコハナアブやオオススメバチの姿が見られました。こちらは派手な色をしています。「蜂に似ているのは警戒色ですね」と、こちらが説明する前に、参加者から言われてしまいました。空中にはクマバチがホバリングをしていました。スタッフの一人が手でつかむと、皆さん驚きましたが、顔の黄色いオスだから刺しません！さらに進むと、クサイチゴの赤い実が沢山なっていました。食べると甘い！今回評判になったのは、意外にも嫌われることの多い蛾の仲間のウンモンズズメ。シックな色合いに人気が集まりました。美しいのが蝶で、きたないのが蛾、という常識を覆す渋い美しさに見とれました。色を探し回っていると、普段見ようもしないキンバエにも注意が向かいます。普段見つけたら殺虫剤をかける蠅ですが、金青緑色の輝きを美しいと思うのですから、不思議なものです。意外な体験のできた観察会となりました。



【観察した主なもの】

赤:ポピー、クサイチゴの果実、ナミテントウ、ナナホシテントウ、セアカヒラタゴミムシ

橙:ツマグロヒョウモン

桃:ヒラドツツジ

茶:ウシカメムシ、マルカメムシ、キマダラカメムシ、ハラビロカマキリの卵のう

黄:タンポポ、コメツブツメクサ、カタバミ、ナミアゲハ、キイロテントウ、キムネクマバチ、オオススメバチ、ホソヒラタアブ、トラフムシキヒキ

緑:コノテガシワの花、アオスジアゲハ、ウンモンズズメ、コアオハナムグリ、アオハナムグリ、ラミーカミキリ、キリギリスやヤブキリの幼虫、

青:オオイヌノフグリ、キュウリグサ、シオカラトンボ、ギンヤンマ

藍:ルリクビボソハムシ

紫:ニワゼキショウ、ツルニチニチソウ

白:ハルジオン、シロツメクサ、ヒメシロコブゾウムシ、コサギ

灰:アオサギ、ニホンヤモリ

黒:アカタテハの幼虫、ヒラタクワガタ♀、コクワガタ♀、オオヒラタシデムシ、ヨコヅナサシガメ、カラスの羽

金:トノサマガエルの目